

令和 6 年度

大刀洗町後期高齢者医療保険特別会計
(事業勘定) に係る主要施策報告書

福岡県大刀洗町

令和 6 年度主要施策の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定により、令和 6 年度大刀洗町後期高齢者医療保険特別会計決算に係る主要な施策の成果を、次のとおり報告します。

令和 7 年 9 月 3 日

大刀洗町長 中山 哲志

目 次

1. 決算の概要	1
2. 歳入歳出決算額の目的別分類	
3. 主要施策の概要 歳入	
4. 主要施策の概要 歳出	2

まえがき

国民の医療に対する安心・信頼を確保し、質の高い医療の提供体制を確立すること、国民皆保険を将来にわたり持続可能なものにすることを目的として、平成18年6月に健康保険法等の一部を改正する法律が公布されました。この法律により、老人保健制度に替わって、平成20年4月から、75歳以上の後期高齢者等を被保険者とする新たな「後期高齢者医療制度」が創設されました。この制度での財政の安定化を図るため、平成19年3月30日に「福岡県後期高齢者医療広域連合」が設立されました。

本会計は、福岡県後期高齢者医療広域連合が行う75歳以上の後期高齢者等に係る保険給付事業に対応するため、加入市町村における申請や届出の受付、資格管理、保険料徴収、保険証引き渡し等の業務に係る特別会計です。

今後も大刀洗町は、後期高齢者の心身の特性及び生活実態に応じて、必要かつ適切な医療サービスの提供が図られるよう、福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めてまいります。

1. 決算の概要

(単位:円, %)

区分	歳入 (A)	歳出 (B)	歳入歳出差引額 (C)	実質収支 (D)
当初予算額	273,926,000	273,926,000	-	-
補正予算額	8,405,000	8,405,000	-	-
予算額	282,331,000	282,331,000	-	-
決算額	280,447,285	271,022,875	9,424,410	9,424,410
執行率	99.3	96.0	-	-

2. 歳入歳出決算額の目的別分類

(単位:千円, %)

歳入 (科目)	決算額	構成比	歳出 (科目)	決算額	構成比
1. 後期高齢者医療保険料	196,023	69.9	1. 総務費	12,495	4.6
2. 使用料及び手数料	0	0.0	2. 後期高齢者医療広域連合納付金	258,472	95.4
3. 繰入金	75,534	26.9	3. 諸支出金	56	0.0
4. 繰越金	7,511	2.7	4. 予備費	0	0.0
5. 諸収入	1,380	0.5			
歳入計	280,447	100.0	歳出計	271,023	100.0

※表示単位未満を四捨五入しているので、合計と一致しない場合があります。

3. 主要施策の概要 歳入

○後期高齢者医療保険料の収納状況

(単位:円, %)

科目	予算額	調定額	収入済額	還付未済額 (別掲)	不納欠損額	収入未済額	収納率	備考
保険料	196,870,000	197,227,660	195,748,900	274,320	0	1,478,760	99.25	

内訳

(単位:円, %)

項目	調定額	収入済額	還付未済額 (別掲)	不納欠損額	収入未済額	収納率	備考
特別徴収保険料(現年度分)	109,843,660	109,843,660	244,820	0	0	100.00	年金天引
普通徴収保険料(現年度分)	86,923,890	85,664,690	29,500	0	1,259,200	98.55	納付書、口座振替
計	196,767,550	195,508,350	274,320	0	1,259,200	99.36	
普通徴収保険料(滞納繰越分)	460,110	240,550	0	0	219,560	52.28	

○後期高齢者医療保険料の推移

(単位:円, %)

年度	調定額	収入済額	還付未済額 (別掲)	不納欠損額	収入未済額	収納率	備考
令和4年度	現年度分	157,335,310	156,645,230	36,710	0	690,080	99.56
	滞納繰越分	514,440	413,050	0	1,390	100,000	80.29
	計	157,849,750	157,058,280	36,710	1,390	790,080	99.50
令和5年度	現年度分	167,905,490	167,635,850	87,140	0	269,640	99.84
	滞納繰越分	790,080	599,610	0	0	190,470	75.89
	計	168,695,570	168,235,460	87,140	0	460,110	99.73
令和6年度	現年度分	196,767,550	195,508,350	274,320	0	1,259,200	99.36
	滞納繰越分	460,110	240,550	0	0	219,560	52.28
	計	197,227,660	195,748,900	274,320	0	1,478,760	99.25

○後期高齢者医療保険料の軽減状況

(単位:人, 円)

区分	人数	軽減額
7割軽減	1,092	41,760,036
5割軽減	374	10,810,710
2割軽減	257	2,979,235
旧被扶養5割軽減	15	385,022
計	1,738	55,935,003

(一般会計より繰入(3-1-2-1基盤安定制度))
(うち3/4 41,951,252円 県負担(一般会計))

令和6年度主要施策報告書

決算書頁	11	報告書種別	目全体	新規・継続	継続	(単位:円)	
事業名	後期高齢者医療事務費			予算額	13,297,000	円	
担当課・係	健康課 国保年金係			決算額	12,494,935	円	
会計	7	後期高齢者医療保険特別会計		財源内訳	国庫支出金	0 円	
款	1	総務費			県支出金	0 円	
項	1, 2				地方債	0 円	
目					その他	0 円	
事業の目的・概要	後期高齢者医療保険の申請や届出の受付、資格管理、被保険者証(資格確認書)引渡し、保険料収納等事務を行う。				一般財源	12,494,935 円	
総合計画との関連	輝くひと	健やか	番号 18	施策名	医療体制・医療保険・年金制度の充実		
事業の実施内容	1項 一般管理費 被保険者証は毎年8月が更新月となっており、郵送により交付しました。 また、新たに後期高齢者医療保険に加入する75歳の方に対して被保険者証(資格確認書)交付会を毎月開催しています。	被保険者数の状況 (各年度末時点)	区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	
	数被保険者	総 数	2,539	2,422	2,347		
	人	75歳以上	2,440	2,313	2,235		
	者	65~74歳(障がい者)	99	109	112		
	主な支出	職員・会計年度任用職員人件費	10,903,233	円			
		被保険者証等郵送費	1,019,796	円			
		保険料通知用封筒印刷費	54,560	円			
	2項 徴収費 保険料の納付通知書並びに納付書の郵送費、口座振替等手数料、普通徴収の方で納期限内に納付されてない被保険者に対する督促等に係る経費の支出。	主な支出	納付書等郵送費	360,053	円		
		保険料口座振替手数料	55,770	円			
		コンビニ収納手数料	45,142	円			
施策の実現手段となる事務事業の実施状況・評価							
成指 果標	事務事業		主要施策	決算額(円)		評価及び次年度状況	
				令和5年度	令和6年度	必要性 有効性 効率性 次年度	
	1	一般管理費		10,036,372	12,017,532	A A A 継続	
成 果 今 や 後 の 課 題 方 の 向 分 析	指標名(総合計画・地方創生・各個別計画に掲げる指標)				単位 基準値	目標値 実績値	達成状況
	次年度の状況		■ 継続	□ 拡充	□ 縮小	□ 完了	
成 果 今 や 後 の 課 題 方 の 向 分 析	福岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、適正な資格管理を行った。被保険者証(資格確認書)交付会等において保険料の口座振替推進を実施した。また、保険料未納者へ催告等を隨時行っているが、必ずしも収納にはつながっていない。 被保険者は年々増加傾向にあり、またマイナ保険証への移行など事務は複雑多様化してきているが、今後も後期高齢者医療制度が円滑に安定運営できるよう努めたい。						

令和6年度主要施策報告書

決算書頁	11~	報告書種別	目全体	新規・継続	継続	(単位:円)																																								
事業名	後期高齢者医療広域連合納付金			予算額	268,414,000 円																																									
担当課・係	健康課 国保年金係			決算額	258,471,930 円																																									
会計	7	後期高齢者医療保険特別会計		財源内訳	国庫支出金	0 円																																								
款	2	後期高齢者医療広域連合納付金			県支出金	0 円																																								
項	1	後期高齢者医療広域連合納付金			地方債	0 円																																								
目	1	後期高齢者医療広域連合納付金			その他	8,000 円																																								
事業の目的・概要	福岡県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）が行う給付事業等に係る負担金を広域連合に納付する。				一般財源	258,463,930 円																																								
総合計画との関連	輝くひと	健やか	番号 18	施策名	医療体制・医療保険・年金制度の充実																																									
事業の実施内容	<p>後期高齢者等に係る保険給付事業に充てる費用として徴収した保険料、保険料の軽減分として補填された保険基盤安定負担金及び広域連合運営負担金を広域連合に納付しています。</p> <p>主な支出</p> <p>保険料等負担金（うち保険料、繰越金、延滞金分） 194,117,360 円 保険料等負担金（うち保険基盤安定負担金保険料軽減分） 55,935,003 円 (3/4県費) 事務費負担金（広域連合運営費） 8,419,567 円</p> <p>※療養給付費負担金 223,971,904円 (一般会計3-1-12-18) は公費負担分</p>																																													
成績指標	<p>施策の実現手段となる事務事業の実施状況・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業</th> <th rowspan="2">主要施策</th> <th colspan="2">決算額(円)</th> <th colspan="4">評価及び次年度状況</th> </tr> <tr> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>必要性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> <th>次年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td></td> <td>223,139,091</td> <td>258,471,930</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>指標名（総合計画・地方創生・各個別計画に掲げる指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>次年度の状況</th> <th>■ 継続</th> <th>□ 拡充</th> <th>□ 縮小</th> <th>□ 完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成績今後課題方の向分析</td> <td>対象者（75歳以上の高齢者）が増加するのにあわせて、負担金（納付金）の額も増加している。広域連合と連携し、医療費の適正化、適切な保険料収納に努めていきたい。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事務事業	主要施策	決算額(円)		評価及び次年度状況				令和5年度	令和6年度	必要性	有効性	効率性	次年度	1 後期高齢者医療広域連合納付金		223,139,091	258,471,930	A	A	A	継続	2								次年度の状況	■ 継続	□ 拡充	□ 縮小	□ 完了	成績今後課題方の向分析	対象者（75歳以上の高齢者）が増加するのにあわせて、負担金（納付金）の額も増加している。広域連合と連携し、医療費の適正化、適切な保険料収納に努めていきたい。			
事務事業	主要施策	決算額(円)		評価及び次年度状況																																										
		令和5年度	令和6年度	必要性	有効性	効率性	次年度																																							
1 後期高齢者医療広域連合納付金		223,139,091	258,471,930	A	A	A	継続																																							
2																																														
次年度の状況	■ 継続	□ 拡充	□ 縮小	□ 完了																																										
成績今後課題方の向分析	対象者（75歳以上の高齢者）が増加するのにあわせて、負担金（納付金）の額も増加している。広域連合と連携し、医療費の適正化、適切な保険料収納に努めていきたい。																																													